

ようこそともしび福祉会へ！ 4月3日入社式



令和5年度ともしび福祉会入社式が4月3日に執り行われ、ともしび保育園、特養ともしび、福島ともしび苑、法人本部に新規入職者が加わりました(^^)ともしび福祉会の職員として、先輩職員と共に地域の福祉増進に努めます。



一辞令交付— ピリッと引き締まります！



辞令交付が終わり、ともしび福祉会の一員としてスタートを切りました(^^)令和5年度は色々な職種の職員が入職しましたので、同期で刺激を受けることも多いのではないのでしょうか(*^^*)



新入職員代表謝辞
ともしび保育園 藤本葉月さん

職員インタビューコーナー

保育の仕事に就いたきっかけ

保育園に通っていた頃の担任が明るく優しい先生で、私もこんな先生になりたいと思いました。その気持ちは幼い頃から変わらず、保育の勉強ができる短大に入学したものの、人見知りの性格や保育実習で保育の難しさを感じ、「違う仕事のほうがいいかもしれない」と考えたこともありましたが、しかし、その頃保護者支援の勉強もしており、私自身シングルマザーの家庭で育ってきたので、働く保護者の力になりたいという思いが芽生え、幼い頃からの夢である保育士になろうと決意しました。

実際に働いてみて感じたこと

良い先輩や後輩に恵まれ、様々なことを経験させていただいています。昨年度、初めて1人で年長クラスの担任を持ちました。1人ゆえにクラスが自分の色に染まっていくことに不安を感じたこともありましたが、自分が主となって進めていくので、保育について考えることも多く、子どもたちと向き合っていくなかで経験したことが、結果として、今は自信に繋がっています。子どもたちを無事小学校に送り出すことができ本当に良かったです。それに、卒園式で保護者の方にいただいた温かい言葉がとても嬉しかったです(*^^*)

保育士としての今後の展望

大きな行事の前は準備などが大変ですが、子どもが好きなので、一緒にいると癒され、子どもたちの笑顔が私の頑張るエネルギーになっています。今は出産や育児の経験はありませんが、いつかそういう機会があれば経験したことを保育に活かしたいと思います。実際に経験することで、もっと保護者の方や子どもたちの気持ちに寄り添えると思うので、いつかそんな日が来たら、保育士としてのスキルアップに繋がりたいと思います。

目指す人物像

入社してすぐの頃に、保育士としての引き出しの多さや子どもの視線の惹きつけ方を見て、こんな先生になりたいと思ったのは、荒木先生です。また、坂本先生が周囲の方へ気配りをされている姿を見ると、私も後輩が増えてきたので「見習わなくては！」と思います(^^)



ともしび保育園 保育士 木下穂乃さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は食事や買い物に出かけたり、家で過ごす時は邦画や韓国ドラマを見ながら愛猫とのんびり過ごしています。ストレスはあまり感じないほうですが、疲れた時は好きなものを食べたり、家族と会話したりしてリフレッシュしています。また、大きな保育行事の後は、祖父母の家に泊まり、ゆっくりさせてもらうこともあります♪

未来の自分

主任やリーダーを見ていると大変そうですが、経験すると深みが出るし、得るものも大きいのだろうと感じますので憧れはあります。今のところは、保育実習生のサポートや、講師のような仕事に関心があり、現場も子どもたちも大好きではありますが、いつかはそういったステージも経験してみたいな、という気持ちがあります。そして遠い未来、おばあちゃんになった頃には園長先生になっていたいです(*^^*)